

春闘で大幅賃上げかちとろう！

2月15日、東京・錦糸町で行われた国鉄解雇撤回集会には650名の労働者が結集し、解雇撤回闘争と共に、JRのすさまじい外注化攻撃にダイ改決戦で反撃する決意を固めました。集会で漆原副委員長の発言を紹介します。



国鉄高崎動力車連帯労働組合
漆原 芳郎 副委員長

■JRはただちに外注化・非正規職化を撤廃せよ！

12年の10月に私の職場（高崎車両センター籠原派出所）は全員TTSに出向させられ、私もTTSで構内運転士として働いています。

私は来月いっぱい60歳になりますので、4月からエルダーということになります。エルダー職場の確保と言う口実で外注化は行われてきたわけですが、高崎支社においては来年度140名の退職者がいるなかで、エルダー職場の確保がされているのが40名分ということ。残りの100名はどうするのか。こういう政策を推進してきた会社、それから東労組はなにを考えているのかという批判も出ています。これは当たり前のことだと思えます。私たちはあくまでも労働者ですから、働いて、賃金を取得して、労働力の再生産という形で生活をしてい

るわけです。しかしこれがいま根本から覆されようとしている。そういった構造が日本の状況だと思えます。

■異常に安い賃金は許されない！

TTSの職場のパートの人の賃金は、埼玉県にある籠原事業所では、時給870円です。群馬県にありま

す高崎事業所、新前橋事業所の時給は835円です。これで一日7時間30分働いて、月に週休2日と考えて、22日働くわけですよ。そして計算してみますと籠原の場合、月に14万3550円。これで1年間働いて、172万2600円です。群馬県の場合には月に13万7775円。年間165万3300円です。本当に非正規の最たるものですよ。年



【その1】こんな労働強化じゃ現場は持たない

今回のダイ改はこれまでの比ではない。仕事が圧倒的にきつくなる。いまの要員では業務をこなせない。一時的に頑張つてやれたとしても、きつくて何ヶ月も続けられないと思う。そうすると辞める人も出ると思う。JRは団塊の世代の人間はいらないと露骨な態度だ。この数年でこ

取200万以下の労働者がいかに多いかと言われているわけですが、160万、170万という世界で、TTSの労働者は働かされているわけ

■TTSの大幅賃上げ勝ちとろう

全国で春闘体制に突入しています。動労連帯高崎も一応少数ですけど、TTSに申し入れ書という形で、待遇改善を含めて、要求書を提出しました（拍手）。

動労総連合としましては、3万8000円の賃上げ獲得が目標になっています。私たちはTTSの労働者にたいしても3万8000円の賃上げ要求をしました（拍手）。パート労働者にたいしては、時給1000円の獲得ということで申し

入れをしました。

■闘う労働組合を拡大しよう

彼我（ひが）の力関係もありますからどういふ結果になるか分かりませんが、私たちはそういう要求を掲げて、清掃労働者を獲得し、組織拡大をしていきたいと思っています。

まだ現実的には清掃労働者の組合員を一人しか拡大できていませんが、いま予備軍として、動労連帯に加入しようという人もいます（拍手）。

これからさらに拡大していきたいと考えています。高崎の場合、本当に少数な組合ですけど、これからも奮闘していきたいと思えますので、よろしくお願いいたします（拍手）。

の世代の人が一気にいなくなるとJRは一変すると思う。

【その2】超低賃金の駅員！

TTSは新たに駅業務に7〜8人プロパーを採用した。大半は、首都圏で5年で使い捨てにされた元

グリーンスタッフ。たった1週間の高崎本社での教育の後、現場に配属業務に精通してほとんど教えなくても働ける。でも給料はグリーンスタッフの時よりも激減。住宅ローンも大変だという。

3・14ダイ改粉碎

動労連帯高崎春闘行動

●3月13日（金）朝8時

高崎車両センター籠原派出所前

（同7時30分）籠原運輸区前（ピラ配り）



「沼津まで240キロ！」安全無視・労働強化の

3・14ダイ改合理化絶対反対！

3・14ダイ改粉碎！動労連帯高崎春闘行動へ！

■殺人的労働強化絶対反対！

3・14ダイ改合理化によつて、高崎線の本数7割は、東海道線直通となり、最長 前橋から沼津までの240キロのロング運転となります。「利便性が1・6倍になる」と言われますが、乗務員の負担はそれだけ過重になります。ネット上などでも、「うつかり寝過そうものなら、栃木から4県越えて静岡の温泉街まで連れて行かれる」「常磐線と宇都宮線、高崎線の上下線が一部で平面交差するらしい。一歩間違えば大事故になる」との不安の声も出ています。折り返しの際の清掃作業や広告作業、構内入換業務も同様で、3

月ダイ改は殺人的とも言える労働強化となることは明白です。湘南新宿ラインですら、ロング運転による水回り作業の破綻

が指摘されていますが、東海道線乗り入れでは2面4線しかない東京駅ホームでのトラブルがすでに不安視されています。

■金儲けのための地方切り捨て

他方で、郊外路線は1都3県でJR発足後最長の2700キロが削減され、地方切捨てが激しく進められます。房総方面、銚子方面、多摩地区西部などの削減が際立ち、埼玉県内では川越線の川越・高麗川間が3分の

2に削減されます。窓口を廃止する駅が増加していて、地方切捨ては激烈です。利益の出ない地方はとことん切捨て、儲かる路線にだけ集中するという「儲けが全て」というのがJRの考えです。これでは、交通の安全も地域社会も崩壊されてしまいます。JRでは、急病人が出たときに対応する術もないほど外注化が進んでいます。

■めちやくちな賃下げを許すな！

一方、外注化・非正規職化が激しく推し進められ、賃金が大幅に切り下げられています。駅の外注化が激しく進行し、かつて正

規職員だった駅務は外注会社に委託され委託先労働者の賃金は正規の半分以下です。籠原の清掃パート労働者の時給は870円。年収160万がやっとのレベルで、いずれは運転士・車掌の外注化・非正規職化が狙われています。これで業務の安全が確保できるわけではありません。

■「1兆3526億円過去最高益」パート時給870円！」ブラック企業」JRと闘おう

JRはすさまじい合理化によつて莫大な利益(2014年度は、14年9月決算予想で、1兆3526億円の過去最高の営業収益)を上げながら、無限に利益を追求して、私たち労働者の生活も誇りも団結も未来もすべて破壊し尽くそうとしています。とりわけこの3年間で、労働運動の経験を持っていた国鉄採用の世代が大量退職を迎える中で、JRはこれをチャンスとばかりに全面的な外注化と非正規職化、労働強化と賃下げ、団結破壊と支配の強化をやるう

しかもJRは現場には何も言わないで好き勝手にやり始めています。北上尾駅の例を見て下さい。東労組が黙認しているから、資本の専制がまかり通るのです。JRのダイ改合理化、外注化攻撃は、鉄道労働者を犠牲にするだけでなく、JR北海道のように安全をも崩壊させることは明らかです。

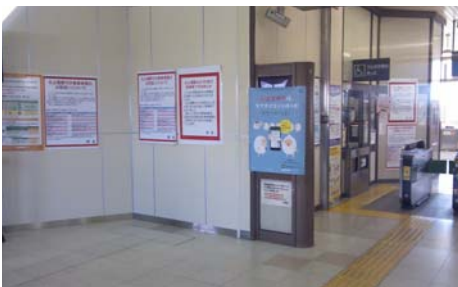
■動労連帯高崎に結集して、怒りの声をあげよう！

今大切なことは、JRのでたらめな合理化、外注化攻撃にたいして職場から団結して反対の立場で闘うということです。黙っていては殺されてしまいます。闘う労働組合に結集して反対の声を上げることが絶対に必要です。籠原が比較的自由的な職場であったのは、分割民営化に一貫して闘い続けてきた動労連帯高崎と無縁ではありません。あなた自身がいまこそ動労連帯高崎に結集して、ものが言える職場、誇りをもって働ける職場を闘いとるときです。みんな大声を上げて、職場を変えましょう。

こんなことが許せるか！ 北上尾駅でみどりの窓口が突然閉鎖！

北上尾駅では昨年11月30日に突然みどりの窓口が閉鎖されるという「事件」が起きました。JRは現場の駅員には自動券売機の交換と称して業者を入れて、まさにだまし討ちでみどりの窓口を勝手に作っていったのです。さらにTISは東京で5年で雇い止り始めたにもかかわらず、東労組が闘わな

めになったグリーンスタッフを外注化された駅の社員としてもすごい低賃金で雇いはじめています。「エルダー」となります。



無残に閉鎖され、ポスターが掲示されている北上尾駅のみどりの窓口。駅員はとまどい、多くの乗客が切符が買えなくなって困っているが、JR高崎支社は知らん顔である。

とし始めています。エルダー職場の確保のためと言いつつ、気づいてみれば超低賃金の非正規の青年に駅員が置き換えられているのです。

私たちは13日、籠原でダイ改阻止！大幅賃上げを掲げて春闘行動を闘います。動労連帯高崎と共に立ち上がることを心から呼びかけます。